

二頁だけの読書会

見開きからはじまる、知への旅

本のある見開き二頁をきっかけに、
大阪大学の研究成果を
参加者のみなさんと分かち合い、
学び合うプログラムです。

vol.1 『グローバルヒストリーと帝国』

「国別の歴史のバラバラな羅列」「あちこち話が飛ぶのでついていけないし、聞いたことのないカタカナや漢字の人名がさっぱり覚えられない」。高校生の多くが嫌になるこの「世界史」をどう理解したらいいのか。高校・大学から生涯教育まで、世界史教育改善の先頭に立ち教育界でも注目を浴びている「阪大史学の挑戦」が土台になっている、「グローバルヒストリー」とはどんな考え方で、なにがわかるのでしょうか。

歴史好きが関心をもつ諸帝国の興亡は、そのなかでどうとらえられるのでしょうか。

本書を手がかりに探ってみませんか？

ゲスト：桃木至朗（大阪大学大学院文学研究科・教授）

日時：2013年12月7日（土）10時30分～12時（開場10時）

場所：りそな銀行梅田支店 りそなプライベートサロン Reラグゼ セミナールーム
（大阪府大阪市北区角田町8-1 梅田阪急ビルオフィスタワー24階）

事前申込方法：11月13日（水）21時より、
以下のウェブページにて先着順で申込を受け付けます。
<http://www.lserp.osaka-u.ac.jp/ura/2pages.html>

定員：先着順30名（要事前申込）

参加費：無料

二頁だけの読書会 ― 見開きからはじまる、知への旅

vol.1 『グローバルヒストリーと帝国』

ゲスト：桃木 至朗（ももき・しろう）

大阪大学大学院文学研究科教授（東洋史学専門分野）。専門は中世～近世のベトナム史と海域アジア史、世界史教育と歴史学の評論・解説など。著書に『中世大越国家の成立と変容』『わかる歴史・面白い歴史・役に立つ歴史』（いずれも大阪大学出版会）、『海域アジア史研究入門』（共編著、岩波書店）などがある。

現在、大阪大学歴史教育研究会代表として、「阪大史学」のスポークスマンをつとめている。

本の紹介

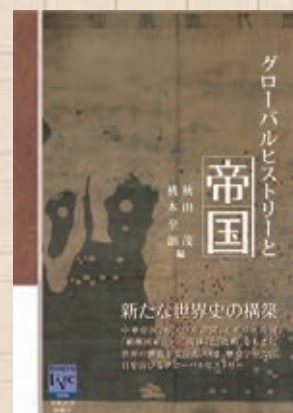
『グローバルヒストリーと帝国』

編者：秋田 茂（大阪大学大学院文学研究科・教授）、桃木至朗（大阪大学大学院文学研究科・教授）

大阪大学出版会、2013

（本の概要）

グローバルヒストリーとは国境と地域を越えて地球的規模で展開する人類史の課題の考察であり、本書では広域支配を目指す「帝国」に焦点が絞られる。しかも、西欧中心史観を相対化するため、アメリカや西欧の帝国にとどまらず、モンゴル帝国や日本帝国も重要な柱になっている。好評を博した前著『歴史学のフロンティア』の続編。



関連図書（上記以外）

秋田 茂『イギリス帝国の歴史』中公新書、2012

秋田 茂、桃木至朗（編著）『歴史学のフロンティア——地域から問い直す国民国家史観』大阪大学出版会、2008

川北 稔ほか（改訂版 2013）『新詳世界史B』帝国書院（高校教科書）、2008

羽田 正『新しい世界史へ』岩波新書、2011

羽田 正（編）『東アジア海域に漕ぎだす1 海から見た歴史』東京大学出版会、2013

水島 司『グローバル・ヒストリー入門』山川出版社（世界史リブレット127）、2010

懷徳堂記念会（編）『世界史を書き直す 日本史を書き直す 阪大史学の挑戦』和泉書院、2008

與那覇 潤『中国化する日本』文藝春秋、2011

ほか

会場までのアクセスマップ

りそな銀行梅田支店 りそなプライベート
サロン Re ラグゼ セミナールーム
（大阪市北区角田町 8-1 梅田阪急ビル
オフィスタワー 24 階）



主催：大阪大学 大型教育研究プロジェクト支援室
共催：大阪大学出版会、株式会社りそな銀行
協力：大阪大学クリエイティブユニット、大阪大学 21 世紀懷徳堂

問合せ先 大阪大学 大型教育研究プロジェクト支援室 info-ura@lserp.osaka-u.ac.jp